

平成 28 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立豊里小学校 学校協議会

1. 総括についての評価

学校から示された「運営に関する計画」の最終総括を検討した結果、今年度の学校の自己評価は妥当である。学校アンケートの結果を見ると、ほとんどの項目で肯定的な意見が 80%を超えており、過去 3 年間の推移をみても 3 年連続で上昇している項目が大半を占めた。学校が、目標に向かってよく努力していただいた結果だと考えている。

2. 年度目標ごとの評価

【視点：学力の向上】

平成 28 年度末の学校アンケートにおける「国語の授業はわかりやすい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。（カリキュラム改革関連）

学校アンケートで「国語の授業はわかりやすい」の設問に肯定的な答えが 83%という回答を得たということで、おおむね目標に達したと理解した。本年度は「国語」が研究教科だったとのことで、次年度以降も学力の向上に向けて頑張っていたきたい。

【視点：道徳心・社会性の向上】

○平成 28 年度末の学校アンケートにおける「しっかりとあいさつや返事をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合 80%以上を維持する。

○平成 28 年度末の学校アンケートにおける「学校のきまりを守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合 80%以上を維持する。

○平成 28 年度末の学校アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。

○平成 28 年度末の学校アンケートにおける「自分にはよいところがある」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

学校アンケートの結果は、しっかりとあいさつ（85%）、きまりを守る（85%）、しっかりと掃除（89%）自分にはいいところがある（81%）といずれも目標を達成できている。学校の指導が子どもたちに浸透していることがうかがえる。今後も家庭への啓発も含め、さらに実のあるものにしていただきたい。

【視点：健康・体力の保持増進】

○平成 28 年度末の学校アンケートにおける「体育の時間や休み時間にしっかりと身体を動かしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合 80%以上を維持する。

○平成 28 年度末の学校アンケートにおける「給食を残さずに食べている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合 80%以上を維持する。

○平成 28 年度末の学校アンケートにおける「手洗いをしっかりとしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

学校アンケートの結果は、体を動かす（86%）、給食を残さず食べる（90%）、しっかりと手洗い（84%）とこれも目標を超えている。この結果を体力の増進・健康の保持につなげていくように取り組みを進めてほしい。

3. 今後の学校運営についての意見

現在の成果を、次年度以降も維持していただきたい。

子どもの成長は、学校の取り組みだけでは解決できない。学力・体力・道徳心の伸長は家庭の影響も計り知れない。家庭への働きかけについては、学校だけでなく、PTAも協力して子どもたちの健全育成について進めていっていただきたい。